

令和5年度 事業別戦略

(1) 営農経済事業

事業方針		地域農業の活性化に向け、激しい環境変化に対応した体制整備と新たな事業展開に取り組みます。 また、地域の維持・発展に向け、農業が持つ役割の理解促進により、「農業関係人口」の増加を図ります。		
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
営農1	農業経営基盤強化にかかる支援実施	7品目生産量 ①果樹・野菜 304トン増加 ②花木 63千本増加	①74トン増加 ②11.9千本増加	7月以降の高温や、9月以降の高温乾燥・少雨によって、災害級の生産量減少に見舞われています。里芋は、初期生育の不良が懸念されましたが、比較的生育良となりました。きゅうりは、生産量は減りましたが販売単価が良く数年ぶりの2億円台の販売高を得ることができました。柑橘は、濃厚な味わいに仕上がりましたが、少雨・高温の影響が果実肥大に影響を及ぼし小玉果となり、生産量減となりました。
			21.5%	
営農2	品目別生産部会の生産規模拡大	7品目 作付面積 12ha増加	2.2ha	きゅうり・里芋・花木については、毎年新規生産者が10名程度増えていますが、リタイヤ組も同数あることから、現状維持となっています。既存の生産者にも規模拡大するケースは少ない現状にあります。今年度は価格面は良く、新規栽培者募集に明るい兆しがみえ期待したいです。また、柑橘における無償苗木配布後の生育も進み、次年度の生産量に期待しますが、裏年傾向にあたるなか、樹勢回復対策など支援を検討します。
			18.3%	
営農3	販売高維持向上に向けた体制整備	新規販売企画 5企画実施 (1億円)	149,756千円	農家所得向上に向けた販売体制を整え、年内のふるさと納税返礼品(柑橘)等の数量増加により昨年以上の結果となりました。年明け以降も販売強化に努めます。また、柑橘共同選果場の運営や販売手数料の見直しも引き続き検討します。
			75.0%	
営農4	農業資材の地域最安値設定	10品目	10品目	上期は、石灰窒素(輸入)・美味シート・水稻苗を価格高騰前の価格で据え置き対応し、農家土づくり支援として、農産物出荷者に対して苦土石灰(粒)と美土里の配布を実施しました。下期は、市場価格調査をして化成肥料の値引き対応を実施しました。農業では値上げの価格改定の中、ラウンドアップの値下げ及びマシン油類の据え置き対応を実施しました。また、柑橘樹勢回復対策として、尿素的値引き対応を実施しました。肥料の価格は、高騰から一転して下落傾向であるが、農業は値上げ傾向であり高止まりした状態です。第4四半期には生産コスト高騰に伴う農家支援を立案する予定です。
			75.0%	
営農5	JAオリジナル特典の実施	4エリア実施	3エリア	店舗集約に伴い、試験的に実施を始めた営業時間外引渡しは継続されており、今後も利用案内を実施します。また、全エリアで人口減少傾向や営業時間の定着に伴い、地域のニーズに併せた施設の有効活用の検討も進めます。
			75.0%	

営農部門 達成度	53.0% / 最大 75%
-------------	-------------------

令和5年度 事業別戦略

(2) 金融事業

事業方針				
農業・農地・資金・保障等を含めた、組合員・利用者の大切な財産や資産を運用・形成し、次世代へ継承することをJA金融事業の使命とし、皆さまのお役に立つための事業運営体制の見直しと、一人ひとりに適したアドバイスを行うことのできる人財を創造することで、これからは『人が拠点』として、何でもJAにお任せいただけるサポート態勢を充実させます。				
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
金融1	きめ細やかなサービスによる組合員の資産運用・形成	金融業務粗利益 3,120百万円	2,351百万円	組合員・利用者の大切な財産の資産運用・形成のため「お金の色分け」を意識した提案活動と「共済3Q活動」を通じてライフイベント及びニーズに応じた保障提案を実践し、組合員・利用者の皆さまへ「安心」・「満足」が提供できるよう金融サービス活動に取り組んで参ります。
			75.0%	
金融2	相談機能の強化による更なるサポート活動の充実	訪問・相談件数 36,500件	25,687件	契約者フォロー活動(住宅ローン感謝訪問、3Q活動、年金振込先訪問、農家訪問等)を継続実施しています。多岐にわたる相談に対応できる担当者を育成するため、知識習得・ロールプレイング・管理者同行の徹底に併せ、組合員・利用者向けセミナーの実施も継続いたします。
			70.3%	
金融3	多様な接点の拡充による快適で便利な暮らしの提供	非対面チャネル新規登録数 3,000件 (R4から6,000件) (R4からの累積 4,484件)	2,915件	非対面チャネルの重要性の浸透を図り、組合員・利用者へ利便性を伝える活動を実施しています。また、公会堂やイオンモールでのイベントを実施し、ニューパートナー拡大や次世代との接点の強化も図ります。
			75.0%	
金融4	業務ウェイトの「事務」から「組合員サービス」への転換	渉外職員割合 32%	31.3%	融資事務・共済事務については、各月実施しています会議体で指導を行っています。引き続き、事務改革の結果により、渉外担当者が、組合員・利用者の皆さまへ安心を提供できるよう、取り組んでいきます。
			73.4%	
金融5	何でもJAにお任せいただける人財の創造	国家資格取得者数 10人増加 (R4から20人増加) (R4からの累積 12人)	2人	FP2級1名と宅地建物取引士1名が合格いたしました。令和6年1月末に実施されるFP2級の試験に向け、今年度12名の職員が研修、通信教育を受講しています。合計23名の受験予定者がおり、知識習得に取り組んでいます。 また、エリア単位での会議、ミーティング及び勉強会を実施しています。
			20.0%	

金融部門 達成度	62.7%	最大 75%
-------------	-------	-----------

令和5年度 事業別戦略

(3) 生活福祉事業

事業方針		J A版地域包括ケアシステムを構築し、生活機能の維持・回復ができるよう自立支援型のサービス提供を重点に、住み慣れた地域で安心して暮らせる豊かな地域社会づくりをめざします。		
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
福祉1	職種別の人材育成による満足度の高いサービスの提供	月平均利用者数 500人	372人 ----- 55.8%	各種ミーティングを定期的を実施し、感染症、虐待防止、BCP等について情報共有しました。また、国家資格及び専門資格4名取得しました。
福祉2	利用者の自立支援に資する質の高いサービス提供による事業経営	月額介護報酬 3,100万円	2,580万円 ----- 62.4%	科学的介護推進体制（L I F E）加算の評価データを基により良い介護サービスの提供に努めています。また、引き続き感染対策を徹底し、利用回数の増加、利用者獲得に努めます。
福祉3	地域と協力して活動できる体制の構築	訓練実施	2回 ----- 75.0%	5月より徐々に地域との関り（イベント参加）も再開しています。運営推進会議で地域行事、各種イベント等の情報を共有して、より地域との関わりを深めています。

福祉部門 達成度	64.4% / 最大 75%
-------------	-------------------

令和5年度 事業別戦略

(4) 管理部門

事業方針		組合員との対話運動を通じて新たな意思反映体制を構築します。また、地域の持続的発展を支える組織であり続けるために、財務基盤の確保及び内部統制の強化に取り組みます。		
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
管理 1	組合員の意思反映や運営参画の機会を提供	多様な接点による対話回数 175回	294回	非対面での組合員との対話方法として、いただいたメール・お便りへ返信を行っています。また、農業まつり・LINEにおいてアンケート調査を行い、結果を取りまとめ意思反映に繋げます。 今後も組合員の意思を事業運営に反映する仕組みを構築します。
			75.0%	
管理 2	働き世代を見据えた仲間づくり	60歳未満の組合員 800人増加 (R4から1600人増加) (R4からの累積 748人)	329人	組合員数増加および共済員外利用状況改善は、JAおちいまばりグループ全体の経営課題であることから、金融部門と連携し共済加入者で組合員未加入者に対して組合員加入促進運動を実施する予定です。
			41.1%	
管理 3	財務基盤の安定化に向けた自己資本比率の維持	自己資本比率 12%以上	14.44%	変動要因について各担当部署と連携を図りながら検証・精査を実践し、下半期自己資本比率12%以上堅持へ向けて取り組んでいきます。
			75.0%	
管理 4	協同の理念を体現し、長期に亘り地域に貢献することで、組合員の負託に応える職員の育成	勤務年数3年以内における職員の定着率90%以上	77.1%	今年度の採用環境においても厳しさを増している中、JAおちいまばりグループが求める人材を確保するため、賃金設計の見直しに向けたプロジェクトを設置し、取りまとめ部会により、第一段階として、令和6年度からの基本給のベースアップを前提とした検討を進めています。
			64.3%	
管理 5	内部統制・コンプライアンス態勢の強化	実施進捗率 100%	75.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス統括室では、災害等緊急時への対応力強化のため自主防災研修会の開催、安否確認メールのテストを行いました。 ・審査課では、牽制部門としての役割を果たし、各事業部門と独立した目線による公正な審査と与信の管理を行いました。 ・監査室では、監事、会計監査人との連携及び内部監査を通じて内部統制整備及び運用について検証しました。
			75.0%	

管理部門 達成度	66.1% / 最大 75%
-------------	--

令和5年度 事業別戦略

(5) 株式会社ジェイエイ越智今治

事業方針		多様化するニーズに適応し、ライフライン機能の維持発展を図り、組合員・利用者の皆さまの豊かな暮らしをサポートします。		
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
K K 1	【店舗】 JAらしい店舗づくりによる安心して利用できるサービスの提供	全店舗(計) 1日平均利用者数 630人	582人	全店統一のキャンペーンや地域色をアピールしたフェア等を実施し、集客を図りました。ポイントセールや販売促進企画等をさらに強化し、利用者数の確保に努めます。
			69.3%	
K K 2	【葬祭】 JA葬祭を安心して選んでいただける情報の提供	新規ルミエール 会員120人増加 (R4から240人増加) (R4からの累積 188件)	81人	ルミエール会員増強対策として、女性部や生活部門専門委員会等において、会員特典の説明や意見交換を行いました。安心して葬儀を行っていただけるよう、ホームページによる情報発信や事前相談の充実を図るとともに、担当者の育成強化に取り組みます。
			67.5%	
K K 3	【自動車】 組合員・利用者に信頼されるサービスの提供	新規車検 実施台数 215台	141台	職員利用や紹介等により推進を行いましたが、計画を下回りました。第4四半期にキャンペーンや展示会を開催し、事業のPRと利用度の向上に取り組みます。
			65.6%	
K K 4	【LPガス】 無線通信による集中監視システムを構築し、安全で安心な保安サービスの提供	ふれあい訪問 活動実施戸数 年間500戸	515戸	安全・安心なサービスを提供するため、供給設備の期限管理等を徹底しました。また、ふれあい訪問活動を通じて、安全装備の充実したガス器具を提案し、LPガスの利便性をアピールしました。
			75.0%	

K K部門 達成度	69.4% / 最大 75%
--------------	-------------------